

令和 8 年度 協働のまちづくりチャレンジ事業申請書

※提出された申請書の内容は、個人情報を除いて公開する場合がありますので、ご了承ください。

※太枠の中をご記入ください。

申請部門	一般部門
※プルダウンから選んでください	

【1】事前相談

（1）市民活動サポートセンターコーディネーターへの事前相談 ※スタート部門は必須、一般・団体連携部門は任意です

コーディネーター名	村木コーディネーター
事前相談日	2026/4/9

※複数回相談した場合、全てご記入ください

（2）協働を希望する課への事前相談 ※スタート部門は任意、一般・団体連携部門は必須です

協働希望課名	市民協働推進課、障害福祉課、スポーツ振興課
事前相談日	2026/4/10

※複数回相談した場合、全てご記入ください

【2】応募要件

該当する部門の応募要件の太枠内に、○を記載してください。（プルダウンになっています）

団体要件		
該当の部門	要件内容	
全部門共通	5 名以上で構成し、主に金沢市内で活動し、今後も活動を予定している団体である。	○
スタート部門	事業内容にかかわらず、この部門で過去に採択された団体ではない。	
スタート部門	法人格を取得しておらず、かつ設立から 3 年以内の団体である。	
一般部門、団体連携部門	運営に関する規約等があり、1 年以上の活動実績を持っている。	○
一般部門	事業内容にかかわらず、この部門で過去 3 回以上採択された団体ではない。	○
団体連携部門	事業内容にかかわらず、この部門で過去 2 回以上採択された団体ではない。	
団体連携部門	異なる複数の団体による連携提案である。（申請者・団体概要をそれぞれ記入要）	
事業要件		
該当の部門	要件内容	
全部門共通	営利活動、宗教・政治活動を目的としていない。	○
全部門共通	申請事業について、国、地方公共団体又はこれらに準ずる団体から助成を受けていない。	○
全部門共通	既に地域や団体が実施している事業そのものではない。	○
全部門共通	翌年 3 月 31 日までに事業を完了できる。	○
一般部門、団体連携部門	一度採択された事業ではない。（新しい工夫・発展性が見受けられる場合は対象とする。）	○

【3】申請者・団体概要

団体の名称	ピアサポートセッション「Tips」
団体名称のフリガナ	ピアサポートセッションティップス
構成員	計 11 名
(内訳)	(1) 市内関係者 11 名 (2) その他 0 名
設立年月日 (西暦)	令和7 年 3 月 23 日 (設立 2 年目)
団体概要	※記入しきれない場合、別に資料 (団体パンフレット、HP等) を併せて提出してください。
(1) 設立の目的	精神障害をはじめとする生きづらさを抱える人の当事者団体として
※設立のきっかけや現在に至る経緯等	①安心して過ごせる居場所づくり ②悩みや趣味・好きなことなどを話し、生きづらさと向き合うヒントを探す ③人と人・団体のつながりを作る 上記を目的として設立した。 当事者、家族、支援者の集まる交流会を定期開催している。 令和7年協働のまちづくりチャレンジ事業スタート部門採択、他団体とのコラボイベント等を開催。
(2) 今後の目指して いきたいこと	平成23年度厚生労働省書が鶴会社総合福祉推進事業「障害者の社会参加活動の支援に関する調査」(社会福祉法人若狭つくし会)によれば、精神障害者本人が求めることとして「周囲の理解」「コミュニケーションの支援」「地域で気軽に参加できる活動」「土日の活動」「余暇活動の支援」などが挙げられている。 また精神障害者の保護者が求めることとして「サークル活動など仲間を作ってほしい」「仲間と会話や交流を行ってほしい」なども挙げられている。 「Tips」の存在意義として記のような課題を解消できるよう、気軽に参加でき、悩みについて話せる相談の場や、一緒に文化、スポーツなど余暇活動を楽しめるような活動を目指していきたい。
※団体ビジョンや団体ミッション等、将来達成したい理想の状態や目標、団体が果たすべき存在意義等	
活動概要	以下に記入してください。
(1) 主な活動履歴	「Tips」の交流会を一年にわたって開催し、約90名、のべ人数800名以上の参加をいただいた。 交流会では悩み相談や趣味のシェア、就労や生活に関しての座談会、雑談などが飛び交った。会話が苦手な方でも落ち着いて過ごせるスペースを用意したり、テーブルゲームを活用するなどし、参加された方から「楽しかった」「とても勉強になった」「知り合いが増えた」などの感想が聞かれた。 昨年度のチャレンジ事業(スタート部門)においては他団体や個人とのコラボ企画を開催し、BBQ交流会や共通の趣味を楽しむ会、一緒にお出かけする企画、インクルーシブスポーツとしてウォーキングフットボール交流会などを開催した。
(2) 得意分野・ 活躍できること	当事者による経験談をもとに気持ちの共有や情報交換などピアサポート活動(当事者による支援)が活発に行われることによって、「共感してもらえた」「励みになった」「問題解決の参考になった」「自分もできるかもしれない」と感じることに繋がっている。それによって、一人では敷居が高い余暇活動にも仲間を作ってチャレンジするような当事者同士のつながりが活発化している。他にもご家族や福祉従事者・医療関係者のような支援者も混ざり、多様な方が集まり交流している。
※専門的知見、連携先、 アピールポイント等	当事者のニーズの汲み取りや、それに沿った活動を幅広く行うことができる。また他団体との連携も重視しており、その方の希望に沿った専門家、支援者、団体につながるよう情報提供を行っている。
HP,SNSのURL	https://www.instagram.com/pss_tips

【４】企画内容

提案事業のテーマ	金沢市未来共創計画の5つの基本方針の中から、該当するテーマを選んでください。 【参考】未来共創計画の一覧はこちら↓ 未来共創計画 基本方針一覧
テーマ（プルダウン）	小テーマ（左セルでテーマを選ぶと、選択肢をプルダウンから選ぶことができます）
基本方針2_暮らしづくり	(2) 誰もが安心して共に暮らせる地域社会の実現
※テーマが複数に渡る場合、副次的なテーマを以下から選択してください。	
基本方針2_暮らしづくり	(3) 心身ともに健やかに暮らせる健康都市の推進
協働を希望する課名 ※スタート部門は任意	障害福祉課、スポーツ振興課
企画のタイトル	精神障害をはじめとする生きづらさを抱える人の文化・スポーツ体験の促進
事業の概要	※①～③の流れに沿って、具体的に記載してください。
①現状の地域課題 (金沢市における困りごと、改善したい点、従来認識されていなかった課題 等)	第5次金沢市障害者計画「ノーマライゼーションプラン金沢2021」において、様々な計画が策定されている。本企画では下記の項目に着目した。 【V-2：生涯教育の充実】障害のある人の学校教育終了後の生涯学習を支援するため、学習の場やサービスの充実・確保を推進。また市民の障害に対する理解を促進し、障害のない人とともに学ぶ機会の拡充を図る。 【VI-1：文化芸術活動の推進】障害のある人による文化芸術活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進。文化芸術活動を通じた障害のある人の個性と能力の発揮および社会参加の促進を目的として施行された障害者文化芸術推進法に基づき、文化芸術創造都市である金沢の強みを活かして障害のある方が参加できる趣味の講座や芸術鑑賞、障害のある人の作品展開催などを推進する。 【VI-2：スポーツ・レクリエーションの振興】障害の特性に応じたスポーツ・レクリエーションや、障害のある人を含めた市民が一体となったスポーツ・レクリエーションを振興する。 【VII-1：交流活動の促進】ノーマライゼーション社会実現のため、障害のある人となない人の交流につながる活動を推進。また、「世界の交流拠点都市・金沢」を目指し、障害のある人の広域的な交流を推進する。 ほか【IX-2：健康保持・増進施策の充実】【XI-3：社会参加の促進】などにも貢献したい。
②ねらい・コンセプト (①で記載した課題解決のために、 ・アプローチする方向性 ・工夫する点 ・協働する意義 ・市民が共感できる点 等)	精神障害をはじめとする生きづらさを抱える人が、目的を持って文化芸術活動やスポーツ・レクリエーション活動に参加できる企画を開催したい。 ◆趣味や余暇活動を楽しみ、生きがいを持つ。 ◆仲間や人間関係のつながりを増やす。 ◆生活や仕事において役立つ知識や、自分との向き合い方など学びを深める。 ◆作品の制作、展示、販売を通して収入を得る。 また、活動を一般市民にも知っていただきインクルーシブな交流につなげることを考えている。 ◆作品や活動を通して交流し、精神障害をはじめとする生きづらさについて社会に広く知っていただく。 ◆障害のある人となない人の交流の機会を作り、障害者に対する理解につなげる。

③実施内容案 年間事業スケジュール案について、必要があれば使用してください↓ 事業スケジュールひな形	企画①学びの機会を作る 生きづらさについて知る、自分の気持ちに触れるなど学びにつながるイベントを開催する。 時期：6月下旬 対象者：生きづらさを抱える人および一般市民 予定場所：石川県立図書館 研修室 実施内容：「ひとりじゃない」をテーマにした絵本の読み聞かせ、経験者との対談、参加者による感想のシェア 広報・周知の方法：チラシ、SNS等 企画②インクルーシブスポーツ 障害のありなし、老若男女問わず気軽に参加してもらえるスポーツイベントを開催する。 時期：2～3ヶ月毎に定例開催を予定 対象者：生きづらさを抱える人および一般市民 予定場所：あめるんパーク 多目的広場 実施内容：ウォーキングフットボール(走らない、ぶつからない、強いボールを蹴らない)による交流会 広報・周知の方法：チラシ(スポーツ施設や福祉施設への配布)、SNS等 企画③マルシェイベント 障害のある方や福祉事業所が出展するアート作品やハンドメイド作品の展示販売会 時期：秋～冬にかけて開催 対象者：出展者は障害のある方や福祉事業所を予定、客は一般市民 予定場所：学生のまち市民交流館をはじめ、文化施設やホールにて開催 実施内容：作品展示および販売、クリエイター同士や一般客との交流 広報・周知の方法：チラシ(福祉施設等への配布)、SNSによる募集等 年間事業スケジュール案： <table><tr><th colspan="11">年間スケジュール案</th></tr><tr><th>事業内容・準備</th><th>6月</th><th>7月</th><th>8月</th><th>9月</th><th>10月</th><th>11月</th><th>12月</th><th>1月</th><th>2月</th><th>3月</th></tr><tr><td>学びイベント</td><td>●</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>スポーツイベント</td><td></td><td>●</td><td></td><td></td><td>●</td><td></td><td></td><td>●</td><td></td><td></td></tr><tr><td>マルシェイベント</td><td></td><td></td><td></td><td>●</td><td></td><td></td><td>●</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	年間スケジュール案											事業内容・準備	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	学びイベント	●										スポーツイベント		●			●			●			マルシェイベント				●			●			
年間スケジュール案																																																								
事業内容・準備	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																														
学びイベント	●																																																							
スポーツイベント		●			●			●																																																
マルシェイベント				●			●																																																	
事業効果	※金沢市における効果や、事業の対象者が具体的にどうなるか等、記載してください。																																																							
期待できる事業効果 (広く市民が共感できるか、他団体や行政・企業とのつながり、協働の効果がみえるか 等)	・地域の精神障害者のニーズを把握、共有することができ、当事者から必要とされるイベントを開催することができる。また行政からは支援等についての情報を当事者に届けることができる。 ・金沢市を通してスポーツ施設や福祉施設などに幅広く周知していただくことでより多くの方に知っていただくことができる。 ・金沢市後援のイベントとして安心して参加していただくことにつながる。 ・助成金を活用することで参加者の負担が減り、より気軽にイベントへの参加を促すことができる。 ・イベントを通して「自助」を学ぶだけでなく、参加者同士あるいは支援者とのつながりができることによって「共助」「公助」が促進される。 上記のように精神障害当事者においては余暇活動によって健康およびメンタルヘルスの増進につながり、就労意欲の向上や、交流を通して適切な支援につながるなど生活の安定が見込まれる。 行政および他団体においては情報共有の活性化につながり、潜在的なニーズの汲み取りや精神障害当事者への理解の促進が見込まれる。																																																							
その他 特記事項 (今回応募した動機・熱意、本事業を通して何を得たいか 等)	昨年度のスタート部門への採択によってメンタルヘルス、余暇活動、アート、スポーツなど多様な活動を展開することができ、通常の交流会開催では得られなかった経験や効果につながった。運営に関心を持ってくれている仲間も増え、ほかにも活動を通してつながった方々がそれぞれで一緒にお出かけや余暇活動を楽しんだという報告もあり嬉しく思っている。 協働という点では反省点を多く感じているが、市の後援を得たことで安心感や信頼感のあるイベントを開催できたこと、ウォーキングフットボール交流会の周知においての大変大きな効果が得られたこと、参加費負担を大きく軽減して気軽に参加していただくことにつながった。団体運営や協働においてはまだ至らなさを多く感じているが、今年度も文字通りチャレンジしてより広く深く理解を得られるような活動を作っていきたい。																																																							